

2008年3月期
期末決算報告 説明会資料

2008年5月13日(火)



URL <http://www.nissinfoods.co.jp/>

証券コード 2897

 **日清食品株式会社**

2008年3月期 期末決算報告 説明会資料 目次

	ページ
1. 表紙	1
2. 通期の環境・状況	1
3. 2008年3月期決算(連結)概要	2
4. 即席袋めん部門(連結)	2
5. カップめん部門(連結)	3
6. チルド・冷凍食品部門(連結)	3
7. その他の事業(連結)	4
8. 営業利益の増減要因(連結)	4
9. 経常利益・当期純利益(連結)	5
10. 海外状況&明星食品	5
11. 所在地別セグメント情報	6
12. 2007年度北米セグメントの状況	6
13. 2008年度米国事業収益改善策	7
14. 中国事業	7
15. 明星食品状況	8
16. 2007年度(2007/4-2008/3) 営業状況	8
17. 即席めん製品 希望小売価格改定	9
18. (ご参考) 即席めん・業態別前年比推移	9
19. 2008年度(2008/4-2009/3) 事業方針	10
20. 2008年度事業方針	10
21. 「カップヌードル」新開発容器「ECOカップ」	11
22. 50周年「チキンラーメン」積極拡販	11
23. レンジ製品拡充による新カテゴリー創出	12
24. 持株会社への移行(10月1日予定)	12
25. 持株会社と事業会社の構造	13
26. グループ理念	13
27. 2009年3月期計画(連結)	14
28. 退職給付会計による影響(連結)	14
29. 配当予想について	15
30. (ご参考) 2007年度世界総需要	15
【 データ集 1 】 2008年3月期 連結損益計算書	17
【 データ集 2 】 2008年3月期 個別損益計算書	18
【 データ集 3 】 会社の概況・2009年3月期計画	19

お問い合わせ先: 日清食品 広報部

TEL: 03-3205-5027 FAX: 03-3205-5259

変わろう。

地球 のために。


みんな のために。

おいしさ のために。



カップヌードルは ECOカップに変わります。

2008年3月期 期末決算報告 (2008/5/13)

 **日清食品株式会社**
(2897)

通期の環境・状況

■【外部環境】

- 小麦・パーム油・原油等資材コスト大幅上昇
- 国内平均気温上昇(上半期で5ヶ月間前年度より上昇)
- 即席めん総生産数量前期比 100.8% (4-3月 5/13集計)

■【通期の状況】

- 明星食品連結による前期比 売上増加
- 退職給付費用の影響による営業利益減少
- 資材コスト上昇を受け2008年1月出荷分より国内即席めんの希望小売価格の改定実施
- 米国子会社収益低迷

2008年3月期決算(連結)概要

(単位:億円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減	
			金額	率
売上高	3,582	3,855	+272	+7.6%
営業利益	337	277	△ 61	△18.0%
経常利益	378	328	△ 50	△13.3%
当期純利益	190	136	△ 54	△28.3%
為替レート:円/US\$	119.11	114.15		
為替レート:円/HK\$	15.32	14.63		
為替レート:円/RMB	15.24	15.62		

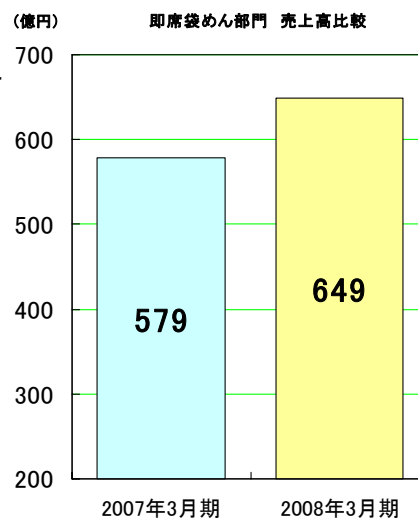
※2007年12月末為替レートを使用しています

日清食品株式会社 3

即席袋めん部門(連結)

■ 即席袋めん部門

- 50周年を迎える「チキンラーメン」、「明星チャルメラコレクション」シリーズ等が増収に寄与
- 明星食品の売上が加わったことにより、国内市場では増収
- 海外では米国を中心に既存品が好調
- 対前期70億円増収の649億円(前期比 12.2%増)



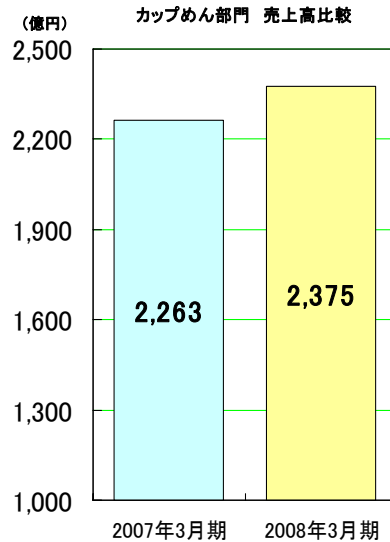
日清食品株式会社 4

カップめん部門(連結)

■ カップめん部門

- 「ミルクシーフードヌードル」
ヒット、焼そばジャンル堅調
- 和風ジャンルは全般的に低迷
- 米国で「CHOW MEIN」、
「Souper Meal」が引き続き好調

- ▼
- 対前期112億円増収の2,375億円
(前期比 5.0%増)



チルド・冷凍食品部門(連結)

■ チルド食品部門

- 主力の「日清焼そば」伸び悩み
- チルド調理めんが増収に貢献

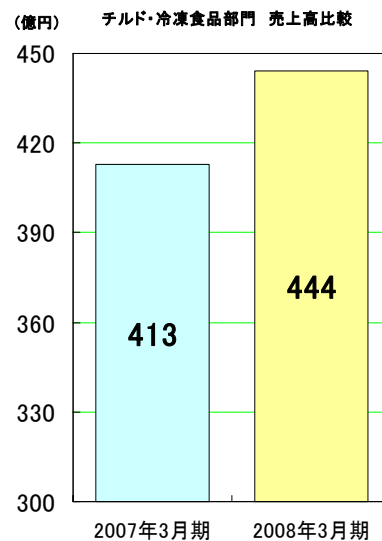
■ 冷凍食品部門

- 高付加価値製品が好調
- 北米子会社の売却による減少

▼

■ チルド・冷凍食品部門合計

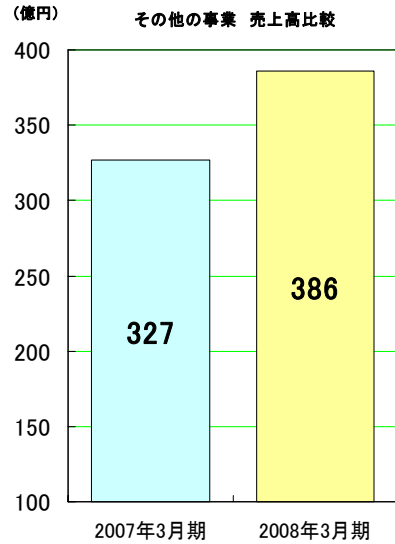
- 対前期31億円増収の444億円
(前期比 7.5%増)



その他の事業(連結)

■ その他の事業

- 「シスコーン BIG」を始め、日清シスコの売上堅調
 - 「ピルクル」を主力製品とする日清ヨークも好調
 - 新たに加わった外食事業も当事業部門の売上に貢献
- ▼
- 対前期59億円増収の386億円(前期比 17.9%増)

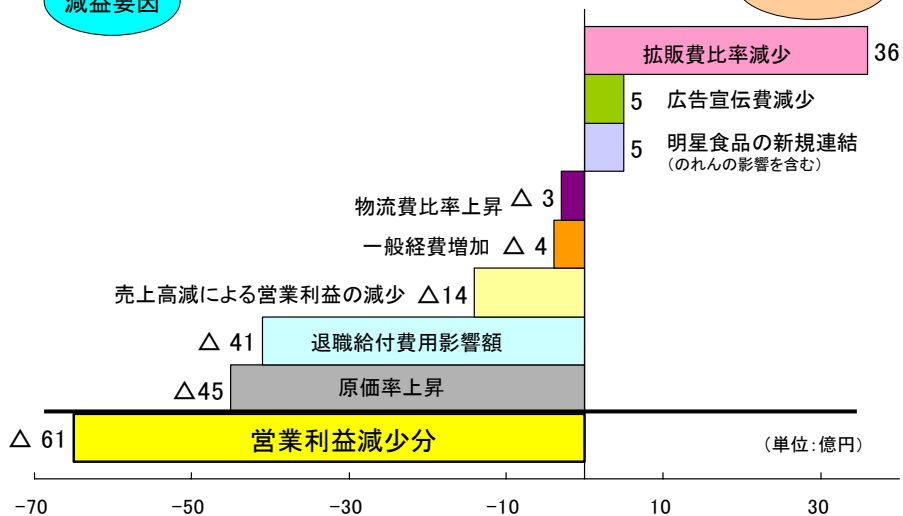


営業利益の増減要因(連結)

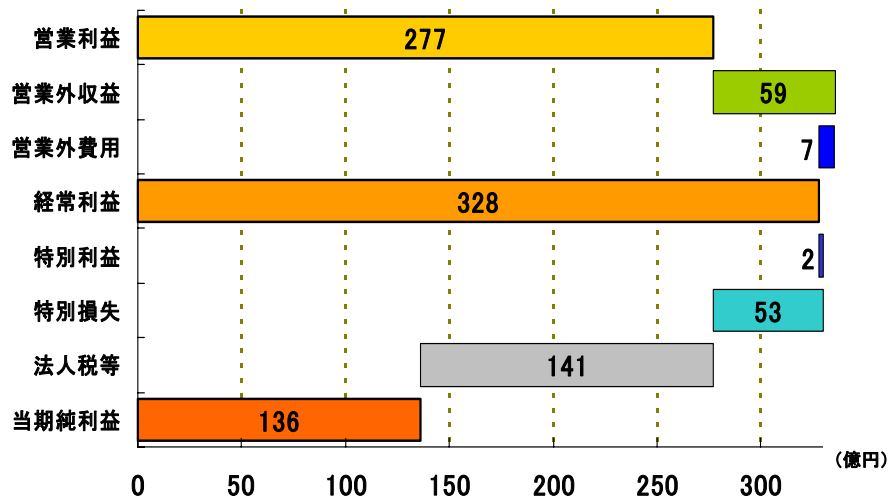
営業利益277億円(対前期 $\Delta 61$ 億円)

減益要因

増益要因



經常利益・当期純利益(連結)



海外状況 & 明星食品

所在地別セグメント情報

		日本	北米	その他 (アジア・欧州)	消去	計
売上高	2008年3月期	3,300	296	259	—	3,855
	2007年3月期	3,037	305	240	—	3,582
	対前期差	263	△9	19	—	272
営業利益	2008年3月期	290	△26	18	△5	277
	2007年3月期	342	△23	23	△5	337
	対前期差	△53	△4	△4	0	△61

(単位:億円)

日清食品株式会社 11

2007年度北米セグメントの状況

(2007年1-12月)

■ 米国日清

■ 販売食数 前年比 102%

- 想定を大幅に上回る主要原材料価格の高騰
- 収益構造改善を目的とする価格改定実施(2007年5月~)
- 価格改定後も大きな影響はなく、販売食数は前年並みに
- 収益構造 継続的な原材料価格の高騰もあり改善できず

■ 製品自主回収(アレルギー表示新法令未対応)

■ 固定資産減損損失計上

■ メキシコ日清

■ 販売食数 前年比 103%

- 主要原材料高騰に即応した価格改定実施(2007年下期~)
- 需要喚起のための積極的プロモーション実施

日清食品株式会社 12

2008年度米国事業収益改善策

■ 原材料価格上昇分を価格改定で吸収

- 価格改定を1月・5月で実施

■ 「高付加価値製品」カテゴリー創出

■ 「CHOW MEIN」「Souper Meal」

- 高付加価値・高価格・高収益
- 消費者の需要喚起型製品群
- 競争構造の転換
- 生産設備への効率化
 - 内製化・自社工場生産によるコストダウン



中国事業

■ 2007年度レビュー

■ 販売食数 前年比 101% (香港を含む中国全土)

- 2007年8月～価格改定後も順調
- 特に上海・広東で展開している主力カップめんが117%と好調(「カップヌードル」「UFO」等)

■ 2008年度方針

■ 上海日清・広東日清(華東・華南エリア)

- マーケティング・R&D機能の強化
- 高付加価値・高品質製品の開発拠点並びに情報発信拠点として機能
- 高所得で情報感度の高い層に向けた高品質製品群の販売拡大

明星食品状況

		億円
売上高	2008年3月期	729
	2007年3月期	782
	増減(率)	△6.8%
	増減(金額)	△53
営業利益	2008年3月期	10
	2007年3月期	10
	増減(率)	△1.8%
	増減(金額)	△0

■ 2007年度レビュー

- 価格改定後販売状況
 - 価格改定により販売ダウンなるも収益改善

■ 2008年度に向けて

- 収益性の改善
- 基幹ブランドの商品力見直しと販促の強化

2007年度 (2007/4-2008/3) 営業状況

即席めん製品 希望小売価格改定

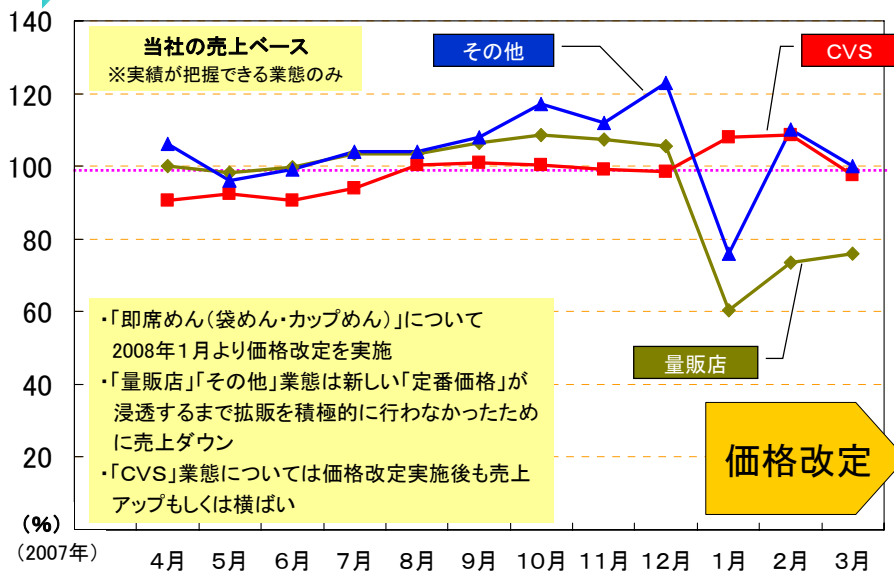
経緯

- 主要原材料コスト高騰
 - 小麦粉の売渡価格制度の変更(変動相場制に)
 - バイオ燃料生産拡大による影響
 - 原油価格高騰→容器・段ボール・燃料・物流コスト 他
- 安全安心コスト上昇(消費者へ食品の安全安心を保証)
 - 原材料の品質管理・検査体制を強化
 - 日清(上海)食品安全研究所設立(品質保証責任徹底)

今後の方針

- 1990年以來の価格改訂を2008年1月1日出荷分より適用
 - メーカー希望小売価格を7~11%値上げ
 - 更なる経営効率化の継続
- 更なる高品質で魅力ある製品作りをすすめる

(ご参考) 即席めん・業態別前年比推移



2008年度 (2008/4-2009/3) 事業方針

 日清食品株式会社

2008年度事業方針

- 新価格の浸透に向けて
 - 拡販費使用基準の厳格化
 - 適度な特売対応・露出強化
 - 更なる原材料高騰に対処して収益性強化

- 環境に配慮した経営へ
 - 「カップヌードル」新開発容器「ECOカップ」拡販
 - 環境にも配慮していく企業姿勢のアピール

- 製品戦略
 - レンジ製品群拡充による新カテゴリーの創出
 - 50周年「チキンラーメン」積極拡販

 日清食品株式会社 20

「カップヌードル」新開発容器「ECOカップ」

発売37年目の大革新



For **E**cology 循環型資源である紙カップを使用
 For **C**ustomer 「みんなのため」わかりやすい表示
 For **O**riginality バリヤ性が高く鮮度をキープ
 カップ強度のアップ

- ◆ グループ中期環境目標の設定
- ◆ CO₂排出量削減
- ◆ 環境に配慮した容器包装設計の基本方針に基づく設計の実施
- ◆ グリーン調達の実施

紙カップに変わっても、カップヌードルが持つオリジナルな外観・食感・触感を守り続けることができるECOカップ

日清食品株式会社 21

50周年「チキンラーメン」積極拡販

2008年5月リニューアル

2003年5月リニューアル

1958年8月発売



発売50周年を迎え さらに進化するチキンラーメン
 たまごがしっかりホールドされるWたまごポケットに進化

日清食品株式会社 22

レンジ製品拡充による新カテゴリ創出



生タイプ麺使用の本格うどん
レンジ調理ならではの
おいしさ実現



水からレンジ調理
湯切り不要
熱々もちもち食感麺

調理の進化系→新しい簡便性



Chin
水・お湯・湯切り不要
ワンハンドの手軽さ
スタイリッシュなBOXタイプ



Spazzy
水・お湯・湯切り不要
熱々の濃厚ソース
熱々の新食感麺

日清食品株式会社 23

持株会社への移行(10月1日予定)

■ 成長戦略を支える経営組織への移行

■ 移行目的

- 「グループ戦略機能の強化」
- 「個々の事業の成長」
- 「明星食品とのシナジー発揮の促進」
- 「経営者人材の育成」

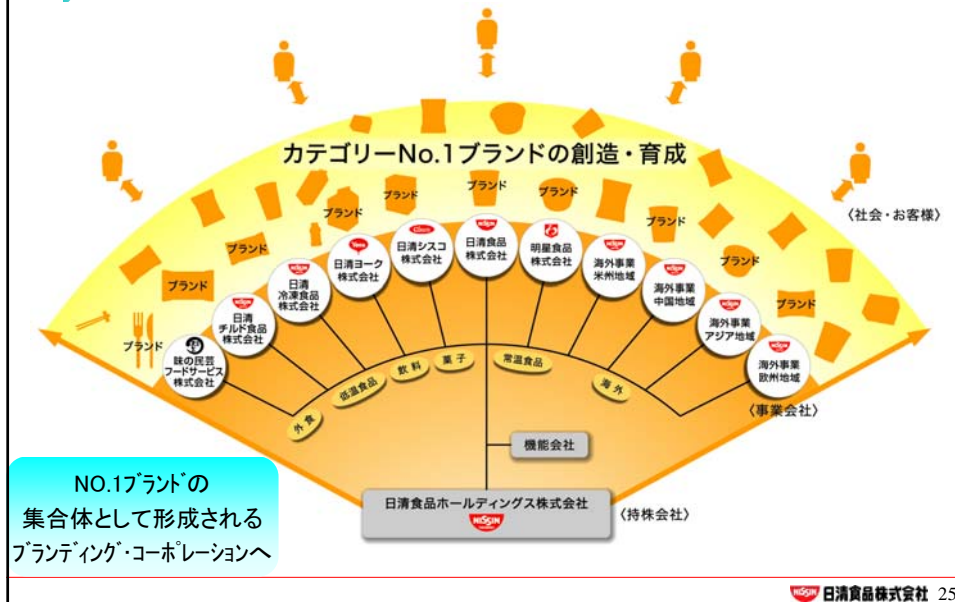
■ 「日清食品」から「日清食品ホールディングス」へ商号変更予定

- 「日清食品」・「明星食品」
- 「日清冷凍食品」
- 「日清チルド食品」
- 「日清シスコ」(菓子事業)
- 「日清ヨーク」(飲料事業)
- 「味の民芸フードサービス」(外食事業)

■ 上記7つの国内事業会社及び海外4つの事業地域を含む持株会社体制に

日清食品株式会社 24

持株会社と事業会社の構造



グループ理念

私たち日清食品グループは、
さまざまな「食」の可能性を追求し、
夢のあるおいしさを創造していきます。
さらに、人類を「食」の楽しみや喜びで満たすことを通じて、
社会や地球に貢献します。

EARTH FOOD CREATOR

2009年3月期計画(連結)

(単位: 億円)

	2008年 3月期	2009年3月期計画		対前期増減	
		(中間)	(通期)	金額	率
売上高	3,855	1,940	3,980	+125	+3.3%
営業利益	277	85	200	△77	△27.7%
経常利益	328	105	255	△73	△22.3%
当期利益	136	55	180	+44	+32.4%

日清食品株式会社 27

退職給付会計による影響(連結)

(単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期 計画	対前期 増減額
A: 営業利益	337	277	200	△77
B: 退職給付 会計の影響	△41	+1	+63	+62
退職給付会計の影響 を除いた場合の 営業利益(A+B)	296	278	263	△15

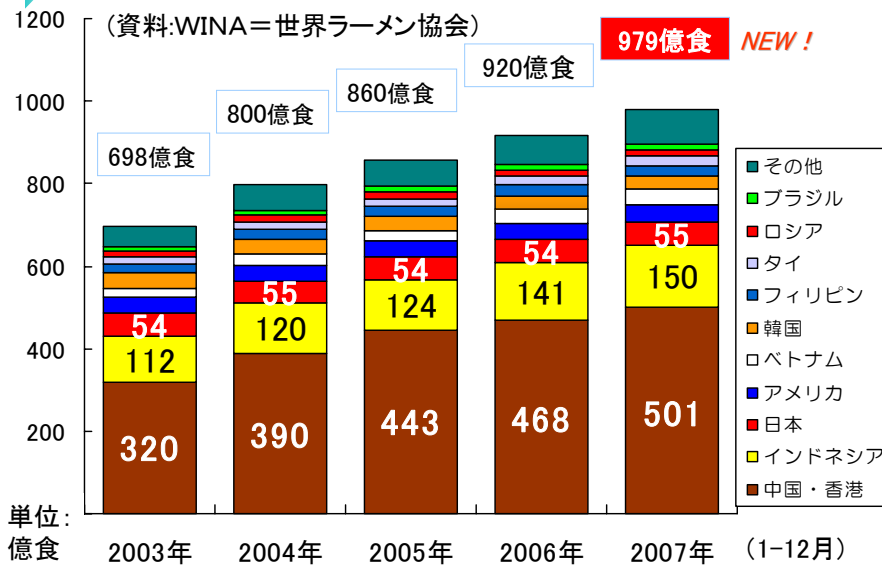
日清食品株式会社 28

配当予想について

	中間 配当金	期末 配当金	年間 配当金	連結 配当性向
来期予想	25円	25円	50円	34.0%
当期	25円	25円	50円	45.0%

前期より連結配当性向30%を目安としています

(ご参考)2007年度世界総需要



- この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。
- この資料における記載金額については、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等があわない場合があります。



がんばれ!ニッポン!

日清食品は、JOCオフィシャルめんパートナーです。

＜連結・損益計算書＞

(単位：億円、%)

	2007年3月期	売上比	2008年3月期	売上比	増減	
					金額	率
I. 売上高	3,582	100.0	3,855	100.0	272	7.6
1. 即席めん及び付随する事業	3,255	90.9	3,468	90.0	214	6.6
即席袋めん類	579	16.2	649	16.9	70	12.2
カップめん類	2,263	63.2	2,375	61.6	112	5.0
チルド・冷凍食品	413	11.5	444	11.5	31	7.5
2. その他の事業	327	9.1	386	10.0	59	17.9
II. 売上原価	1,753	48.9	1,957	50.7	204	11.6
売上原価(退職給付費用影響額除く)	1,768	49.3	1,955	50.7	187	10.6
退職給付費用影響額	△ 15	△ 0.4	2	0.0	16	—
売上総利益	1,829	51.1	1,898	49.3	69	3.8
III. 販売費及び一般管理費	1,492	41.7	1,621	42.1	129	8.7
拡販費	872	24.3	909	23.6	36	4.2
広告宣伝費	124	3.5	122	3.2	△ 3	△ 2.1
物流費	203	5.7	221	5.7	18	8.8
退職給付費用影響額	△ 26	△ 0.7	0	0.0	26	—
一般経費	319	8.9	370	9.6	52	16.2
営業利益	337	9.4	277	7.2	△ 61	△ 18.0
IV. 営業外収益	46	1.3	59	1.5	13	27.2
受取利息	15		18		3	
受取配当金	16		17		1	
有価証券売却益	1		2		1	
持分法による投資利益	5		12		7	
その他	9		10		1	
V. 営業外費用	5	0.1	7	0.2	2	47.4
経常利益	378	10.6	328	8.5	△ 50	△ 13.3
VI. 特別利益	8	0.2	2	0.1	△ 6	
VII. 特別損失	50	1.3	53	1.4	3	
減損損失	11		24		12	
製品自主回収費用	—		6		6	
出資金評価損	14		—		△ 14	
投資有価証券評価損	—		12		12	
その他	25		11		△ 14	
税金等調整前当期純利益	336	9.5	277	7.2	△ 59	△ 17.5
法人税等・少数株主利益	146	4.1	141	3.7	△ 5	△ 3.5
当期純利益	190	5.4	136	3.5	△ 54	△ 28.3

※記載金額につきましては、億円未満を四捨五入して表示しております。増減率については、円単位で算出し四捨五入しております。

【データ集2】 2008年3月期 個別損益計算書

<個別・損益計算書>

(単位：億円、%)

	2007年3月期	売上比	2008年3月期	売上比	増減	
					金額	率
I. 売上高	2,369	100.0	2,282	100.0	△ 87	△ 3.7
1. 即席めん及び付随する事業	2,357	99.5	2,267	99.3	△ 90	△ 3.8
即席袋めん類	294	12.4	283	12.4	△ 11	△ 3.8
カップめん類	1,777	75.0	1,693	74.1	△ 85	△ 4.8
チルド・冷凍食品	286	12.1	292	12.8	6	2.0
2. その他の事業	12	0.5	15	0.7	3	26.8
II. 売上原価	1,029	43.4	1,019	44.7	△ 9	△ 0.9
売上原価(退職給付費用影響額除く)	1,043	44.0	1,021	44.7	△ 22	△ 2.1
退職給付費用影響額	△ 14	△ 0.6	△ 1	△ 0.0	13	—
売上総利益	1,340	56.6	1,263	55.3	△ 78	△ 5.8
III. 販売費及び一般管理費	1,026	43.3	998	43.7	△ 28	△ 2.8
拡販費	660	27.8	609	26.7	△ 51	△ 7.7
広告宣伝費	114	4.8	108	4.7	△ 5	△ 4.8
物流費	108	4.6	106	4.6	△ 2	△ 1.9
退職給付費用影響額	△ 26	△ 1.1	△ 3	△ 0.1	23	—
一般経費	170	7.2	178	7.8	7	4.1
営業利益	314	13.3	265	11.6	△ 49	△ 15.7
IV. 営業外収益	35	1.5	40	1.8	4	12.3
受取利息	9		11		2	
受取配当金	20		22		3	
有価証券売却益	1		2		1	
その他	5		5		△ 0	
V. 営業外費用	2	0.1	2	0.1	△ 1	△ 25.9
為替差損	0		1		1	
その他	2		0		△ 2	
経常利益	347	14.7	303	13.3	△ 44	△ 12.8
VI. 特別利益	2	0.0	2	0.0	△ 0	
VII. 特別損失	20	0.8	94	4.1	74	
減損損失	10		1		△ 9	
投資有価証券評価損	—		12		12	
関係会社株式評価損	1		78		77	
その他	9		4		△ 6	
税引前当期純利益	329	13.9	210	9.2	△ 119	△ 36.1
法人税等	146	6.2	130	5.7	△ 16	△ 10.7
当期純利益	183	7.7	80	3.5	△ 103	△ 56.3

※記載金額につきましては、億円未満を四捨五入して表示しております。増減率については、円単位で算出し四捨五入しております。

【データ集3】 会社の概況・2009年3月期計画

※記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

回次			第56期	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期(計画)	
決算年月		単位	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	
連	即席袋めん類	百万円	45,511	44,023	48,918	57,871	64,915	68,500	
	カップめん類	"	203,337	203,688	204,864	226,315	237,536	245,400	
	チルド・冷凍食品	"	39,701	39,858	40,727	41,281	44,369	45,800	
	その他の事業	"	31,482	29,401	27,189	32,770	38,648	38,300	
	売上高計	百万円	320,032	316,972	321,700	358,238	385,469	398,000	
	(伸率)	%	1.5	-1.0	1.5	11.4	7.6	3.3	
	売上高総利益率	%	49.4	50.5	50.8	51.1	49.3	—	
	営業利益	百万円	23,203	28,962	31,979	33,734	27,671	20,000	
	営業利益率	%	7.3	9.1	9.9	9.4	7.2	5.0	
	経常利益	百万円	25,620	33,183	39,526	37,843	32,798	25,500	
	経常利益率	%	8.0	10.5	12.3	10.6	8.5	6.4	
	当期純利益	百万円	14,050	16,611	15,388	18,968	13,591	18,000	
	純資産額	"	244,439	258,138	263,199	288,476	288,844	—	
	総資産額	"	343,644	361,104	366,801	410,407	392,694	—	
	結	1株当たり純資産	円	1,980.14	2,091.16	2,167.81	2,304.40	2,310.36	—
		1株当たり当期純利益	"	113.61	134.36	125.09	156.12	111.17	147.23
自己資本比率		%	71.1	71.5	71.8	68.7	71.9	—	
配当性向		"	26.4	22.3	24.0	32.0	45.0	34.0	
R O E		"	5.9	6.6	5.9	7.0	4.8	—	
R O A		"	4.2	4.7	4.2	4.9	3.4	—	
広告宣伝費比率		%	4.4	4.1	3.8	3.5	3.2	—	
物流費比率		"	5.4	5.5	5.4	5.7	5.7	—	
拡販費比率		"	22.9	23.0	23.2	24.3	23.6	—	
設備投資		百万円	6,765	3,251	3,516	6,151	10,766	11,780	
減価償却費		"	7,078	6,674	5,976	6,187	7,526	9,000	
試験研究費		"	2,761	2,697	2,726	3,163	3,446	—	

回次			第56期	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期(計画)
決算年月		単位	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	08年9月末までの計画
個別	即席袋めん類	百万円	31,079	29,657	31,069	29,395	28,268	13,700
	カップめん類	"	187,667	186,644	184,281	177,746	169,269	83,400
	チルド・冷凍食品	"	29,803	27,361	27,517	28,620	29,187	15,100
	その他の事業	"	16,318	3,443	1,194	1,176	1,492	800
	売上高計	百万円	264,868	247,107	244,063	236,938	228,216	113,000
	(伸率)	%	2.8	-6.7	-1.2	-2.9	-3.7	—
	売上高総利益率	%	50.3	55.1	55.3	56.6	55.3	—
	営業利益	百万円	20,794	25,590	27,194	31,425	26,478	7,500
	営業利益率	%	7.8	10.4	11.1	13.3	11.6	6.6
	経常利益	百万円	23,305	29,562	33,585	34,739	30,293	9,000
	経常利益率	%	8.8	12.0	13.8	14.7	13.3	8.0
	当期純利益	百万円	12,569	14,145	16,020	18,337	8,004	4,000
	期末発行済株式総数	千株	123,457	123,456	121,428	122,266	122,260	—
	純資産額	百万円	230,640	242,529	244,392	261,565	258,366	—
	総資産額	"	303,711	319,086	319,095	336,091	322,642	—
	1株当たり純資産	円	1,867.97	1,964.30	2,012.48	2,139.30	2,113.24	—
	1株当たり当期純利益	"	101.61	114.38	130.23	150.93	65.47	32.72
	自己資本比率	%	75.9	76.0	76.6	77.8	80.1	—
	1株当たり配当金	円	30.0	30.0	30.0	50.0	50.0	50.0
	(うち中間配当金)	円	—	—	15.0	35.0	25.0	25.0
配当性向	%	29.5	26.2	23.0	33.1	76.4	—	
R O E	"	5.6	6.0	6.6	7.2	3.1	—	
R O A	"	4.2	4.5	5.0	5.6	2.4	—	
広告宣伝費比率	%	5.1	5.0	4.8	4.8	4.7	—	
物流費比率	"	4.3	4.7	4.5	4.6	4.6	—	
拡販費比率	"	24.8	26.4	27.0	27.8	26.7	—	
設備投資	百万円	1,265	1,569	1,154	2,279	5,681	6,560	
減価償却費	"	3,995	3,340	2,873	2,652	2,917	2,000	
試験研究費	"	2,422	2,399	2,364	2,317	2,421	—	

- (注) 1. 期末発行済株式数は自己株式数を除いております。
 2. 会社法の施行に伴い、2007年3月期より連結の「純資産額」に「少数株主持分」を含んだ数字を掲載しております。また「株主資本比率」を「自己資本比率」に名称変更しております。
 3. 2006年3月期より、中間配当制度を導入しております。
 4. 上記数値は有価証券報告書ベースで記載しております。